

ガイドがいど

レディースクラブからのお知らせ

①バザール報告

10月28日ホームカミングデーバザールに参加しました。収益は41万7806円となり、10万円を校友会維持会費として納め、残りをレディースクラブ国際交流奨学金基金に積み立てました。毎年、ご協力下さる校友・地方支部・会員の皆様、本当にありがとうございました。又、献品をお寄せ下さった会員以外の方々のお名前を掲載し、お礼にかえさせていただきます。

(株)アリミ、(株)鴻池製作所、森永製菓(株)、オジカソンス工業、魚がし銘茶、飯島匡夫、関谷隆一、箱崎晴巳、折原恭子、河野光子、竹内和子(順不同、敬称略)

②レディースクラブ国際交流奨学金

2007年度、受給者は、文学研究科日本文学専攻後期課程1年に在籍中の、韓国ソウル市出身の安志英さんに決定しました。将来は、韓国で日本語学の研究者として、日本の歴史や伝統文化を教えることが目標です。

③自然観察会へのお誘い
—東京湾野鳥公園で冬鳥観察と大田市場で昼食—
▽日時 2月28日(木)
▽集合 東京モノレール流通センター駅改札口10時半
▽入園料 3000円
▽申込み 宮田陽子(42社)
Tel 042-361-8637

④フランス文学講読

▽日時 毎月第四火曜日10時~12時
▽場所 セントポールズ会館2階
▽講師 手塚伸一(名誉教授) テキスト「Je m'appelle Elisabeth」モリアックの孫娘で、元女優という異色作家による、或る少女の成長の物語
▽費用 一年2万円(会費割引あり)
▽連絡先 岡田紀子(38史)

⑤フランス語講座

▽日時 毎月第二火曜日10時~12時
▽場所 セントポールズ会館2階
▽講師 手塚伸一(名誉教授) テキスト「ビルファストロンの秘密」
情報工学研究所長の中年の男性とモロウ色の目の美女とのラブロマンス。大人向けのおとぎ話。
▽費用 一年2万円(会員割引あり)
▽連絡先 内藤博子(33英)
Tel 0422-527-2913

理学部からのお知らせ

①第15回化学教育フォーラム
池袋キャンパス・新座キャンパス学生の定期健康診断補助業務(アルバイト)募集について
○勤務内容及び条件・給与
▽対象 社会人女子、年齢30~45才位まで(学生不可)
▽内容 定期健康診断補助業務(計測・誘導その他)
▽待遇 時給1000円、交通費1日往復1000円以内支給
○勤務場所 池袋キャンパス(池袋駅下車徒歩7分) 2008年4月1日(火)~9日(水)(除く6日)
※4月1日は全員出勤。※期間中連続勤務ができる方。
▽勤務時間 4月1日 14時~16時(担当業務別説明)
4月20日 14時~16時(担当業務別説明)
4月20日 17時~19時
8時30分~17時
4月7日・8日・9日 8時20分~16時30分(各日1時間程度、勤務時間前後する場合があります)
○お申し込み、お問い合わせ

池袋キャンパス・新座キャンパス学生の定期健康診断補助業務(アルバイト)募集について

せ 立教大学人事課
アルバイト募集係
Tel 03-3985-4765
平成15年3月~平成19年3月理学部で卒業の皆様へ
12月下旬にキャリアセンターから郵送させて頂きました卒業生の通リ、現在キャリアセンターでは理学部卒業生を対象にアンケート調査を行っております。理学部卒業生の皆様の勤務先や職種等の情報を集め、理学部在籍生の就職支援(OB・OG訪問等)に生かしたいと考えております。理学部在籍生の就職活動に協力して下さる方、是非以下のURLのアンケートにお答えください。なお頂いた個人情報、就職支援以外の目的で使用することはありません。立教大学キャリアセンター
http://www.rikkyo.ac.jp/grp/career/kouyuu/index.html から入力をお願いいたします。

昭和三十三卒(体育会OBの集い)

▽日時 4月3日(木)17時30分
▽会場 恵比寿サッポロピアステーション
▽会費 5000円

卒業者向け 職業紹介・就職支援
株式会社立教企画では卒業生の皆様を対象に職業紹介ならびに就職支援事業を行っています。面談はEメールによる予約制となっております。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
お問合せ 株式会社立教企画(立教学院100%出資)
職業紹介・人材紹介担当 03-3985-2854
Eメール shokai@grp.rikkyo.ne.jp
URL http://www.rikkyo.ne.jp/grp/kikaku/

地域立教会を訪ねて 韓国立教会・北京立教会が大橋総長を迎える

2007年11月4日(日)~11月9日(金)の日程で大橋総長、笠原総長補佐、李国際センター長をはじめとする大学教職員一行がソウル、北京を訪れました。訪問の様子をお伝えします。

8日(木)には、北京立教会が大学一行を迎えて懇親会を開催しました。まず最初に孫会長より大橋総長の訪中を歓迎する旨の挨拶があり、その後和やかな雰囲気の中、今後の立教大学のあり方について様々な意見交換が行われました。また、2008年に迎える北京オリンピックや環境問題に関する話題など、楽しい一時を過ごしました。

高麗大学との交流協定締結
11月5日(月)、大橋立教大学総長が高麗大学を訪れ、交流協定締結いたしました。高麗大学は、韓国を代表とする私立大学として知られる名門大学です。19の学部と、約3400人の学生が在籍する、韓国屈指の規模を誇っています。新たに学生交流をはじめとする交流関係がスタートいたします。

中国社会科学院との交流協定締結に向けて
11月7日(水)、北京に移動した総長一行は翌日の8日(木)に中国社会科学院を訪れ、交流協定締結に向けて話し合いを行いました。今回の交流協定締結にあたり、中国社会科学院日本研究所所長の孫新氏(北京立教会会長の多大なる尽力がありその第一歩を踏み出したことをご報告いたします(中国社会科学院日本研究所の詳細は別掲)。交流協定締結の後には、共同研究、国際シンポジウムの開催など多方面での大きな成果が期待されます。

韓国立教会との交流
5日の夜には、韓国立教会約20名のメンバーが集まり大学一行を迎えて懇親会が開催されました。以前、日本に留学していた校友が多く集まったこの会では、大橋総長、李国際センター長より立教大学の国際戦略を中心に大学の展望についての話があり、意見交換が活発に行なわれました。また、留学当時交流があった山崎国際センター員と韓国立教会メンバーとの昔話は尽きることなく、再会の喜びと思いつつに酔いしれた夜となりました。

北京立教会との交流
北京立教会は、1998年から協定を結んでいる聖公会大学を訪問し、聖公会大学NGO大学院での取り組みや、海外プログラムの開発・展開について意見交換を行いました。聖公会大学の金成洙総長との再会も果たし、貴重な機会となりました。

中国社会科学院日本研究所の紹介
中国社会科学院は中国の政策形成に大きな影響力を持つ中国直属の研究機関です。中国社会科学院に属する日本研究所は1981年に設立され日本及び日本関連の諸問題を総合的に研究する学術機関で、基礎理論研究と応用政策研究を同様に重視し、重点的に現代における日本の政治・経済・社会・文化と対外関係などを研究しています。同時に日本研究を目指す大学院生も養成しています。(中国社会科学院、日本研究所HPより)



▲総長を囲んで記念撮影



▲韓国立教会宗会長よりごあいさつ



▲左が孫北京立教会会長、中央が大橋総長

「立教大学校友会オフィシャルグッズ」が自宅で買える!! 校友会インターネットショップングサイトを

をご利用下さい

www.rikkyo-alumni-shop.jp